

各地幼稚  
園だより

# 青森・熊本

## 青森幼稚園

青森幼稚園保母

今

き

よ

幼児教育十七年度の、各地幼稚園だよりの第一番目掲載  
となりしにより不束ながら、それでは吾園施設の根本から  
申し上ぐることに致します。

創立は、畏くも明治の御代四十二年九月、先帝陛下皇太  
子殿下におはせし御時、當市に行啓の記念事業として當市  
に初の幼稚園を三婦人十二名發起創立に係るもの、社団法人、  
私立青森幼稚園、園児定員百二十名、保母四名、保育  
料は金壹圓五十錢であります。敷地約五百坪、園舎の建坪  
百五十坪、所在地は青森市浦町であります。

幼児教育は家庭教育の一部に見做すべきもの

形式は學校に似て居ても、内容は家庭に屬するものさ心得  
得ます。故に吾が神國に生をうけたる者は家庭には皇祖天  
照皇大神様を奉齋すべきであるから、幼稚園内にも其のや  
うにすべきであるさ心得まして、畏くも先帝御即位御記念  
さして即ち大正四年十一月十日普通の神棚式のものではな  
く御神殿をしつらひ、奉安式を擧げました。



蠶の繭



田 植

同時に敬神尊皇報國の精神振起せしむるの目的の外、幼児教育に効果をあらしめんには家庭と社會との連絡を計り且成人の修養に俟たねばならぬとの謂から、其月の十七日(大嘗祭の日)から會合をはじめ毎月一回お伊勢様の御月次祭なる十七日を會合の日と定め、名士を招聘して幼児教育

のみならず諸般の善行天事に親しみ且つ實行に勉めました。が大正七年二月には其名をしんぜん會と名づけました。中央からも幼児教育の權威著として知らるゝ岸邊先生、久留島先生、報徳實踐の篤行家花大人からも數度のお講話を聽かせていただきました。

かゝる精神的の會合は實行の困難を伴ふものですが、如何なる難關があらうとも繼續しやうとの決意の下にしたのであります。幾十年を経過したる後の今日に於てさして困難を覺えずいつも麗はしき會合として一般から期待さるゝに至りましたことは誠に有難き社會と感謝いたして居ります。

#### ツキナシ 月例祭と幼児誕生祭

御神前には毎日御饌米を御神水をお供へ申して幼児登園すれば各自禮拜しますが、毎月一回の月例祭には其月に生れたる幼児の幾人でも其日に纏めてお誕生のお禮のお祭をも合せ行ひます。お母さん達の月一回のお集りも此の日にいたします。尤其つきの中に何か行事のある日は、雜祭、端午祭、藤祭り(庭に幾十坪の白藤紫藤の棚があり)柵織祭(舊七月七日)創立記念日、等に當つた日は會日を其日に變更いたします。而してかゝる行事の日には市内出征軍人遺家族さんの幼児を、時には白衣の勇士さん達をもお招待します。お祭りは私が奉仕します。態々祭官をたのんだり等

するのは應はしくありません。吾が國は神國なる故にかゝる事は各自はなすべきであるのに、物代り星移りして何時しか忘れてしまつたので不心得他から依頼するのであります。

お供へ物は園の方で準備した物の他に、園児のお母さんから心をこめたお供へ物をする向きもあります(弊害をこもなふ向等聊もありせん)お誕生に當つた幼児はお神前の壇上に並び喜々として呼ばるゝまゝに八雲の彈琴に合せて小さなお玉串を奉呈します。

お祭りは終へる直會ナオラヒをします。お母さんも子供も一つしよに、更に幼児にはお下りのお菓子等を配り、お母さん達とは何か三ヶ月間のこゝにつき懇話をします。幼児達は自分のお母さん達とお参りするこゝを大そう悦びます。年を経るにしたがひ、曾て保育をうけた幼児は親となり、其子は同じ幼稚園に通つて來るのは澤山あります。有り難いこゝには何事をするにも當方の思惑を立てるのに困難が少なくなりません。これと同時に嬉しく思うのは、幼児期に於けるあんな子はこんなになつた等昔時を追想しては其家庭教育や自分自ら保育の反省をして其方針に聊かでも安定を見出すこゝを得たのは、自分をして幾十年間同じ此の持場に置いて下さつた凡ての大きなお力の賜を只管に感謝するのであります。

#### 皇道に則つた保育

昨年(一九三九年)の春皇紀二千六百年春祝全國保育大會を橿原神宮御前に開催せられたる際、講師日田權一先生から皇國の幼児として保育の重大なこゝを拜聴しましたが、自分は深く意を強くしたものがありません。丁度私の席の傍に大阪毎日新聞社の社會部長西村先生の居らるゝまゝにお話し合つて、自分の實施し來りしこゝにつき出稿せよのこゝでありましたが遂々用事に追はれ心ならずも其意を果さず居りました。日田先生の仰せにも全國の幼稚園は餘りにも區々なる保育をして居らるゝ。一體何を大目標として居るのか、學齡前の國家として大切な保育を累々述べられ、私は一言半句も洩らさじと拜聴して居ましたが、或る一人の保姆さんは不謹慎にも先生の似顔の漫畫をかいて居らるゝには呆れて涙が出ました。歸國後其園の方に聞けば全くそんな權威のお話のあつたこゝは報告しなかつたのこゝであります。何の爲出張したものか、まゝこゝに遺憾なこゝであります。國家の爲不都合な保育をなす園がありませば此際お互協力して得心の行くやう取計はなければならぬのではないかと私は思はされました。

幼児は幼児期のみで終りとするものでない限り、日先き年先きのみに目を注ぎ、利口にし賢き子供なき親御を悦ばせやうとし紙細工の一つを知つたてよるこゝび、珍らしい

唱歌や遊戯を覺えたててこよなき楽しみをなさるお母さん、之等を以て唯一の保育だと思ひます。最近の知人の話に「あの幼稚園は毎日新しい遊戯を教へるのは専門だから家庭では皆よろこんでゐる云々」幼児の教育はそんなく淺薄なものでせうか、此の幼児期、此の時を失つては一生其時が與へられない大切なく其時期の生活をさすべきで、そして學校でも出來ず家庭でも出來得ぬこころをさせるのは抑々幼稚園の目的であると思ひます。色紙摺みや、唱歌、遊戯の下手は後で補ふことは幾らも出來ます。而して又子供は子供らしさを尊ぶことは誰も同じではありませんが、私から云はせるに極めて平凡な子供を望みます。故に平凡に育てるこころを心がけて居ます。人目を引かぬことも宜しい、却つて其れが幸福であると思ひます。子供らしい子供はやがては大人らしい立派な大人になるんだと思ひますからであります。

繰り返して申しますが成長の後立派な大人になつてお國のお役に立つべき小國民幼児期であります。區々たる勝手な教育を施してさうして一貫した大和魂の持主になるこころが出來ませうか

最後に吾園にてして居るこころの寫眞數葉に就ての説明を申し上げます。(内、掲載は田植と藪掻きの二)

一 田植と庭に一坪位の水田を作り屋外水道によつて手

や足を洗つた流れを以てし、六月中旬頃、私が植ゑます

一 稲の穫り 四ヶ月を経て稔ります。一本く幼児に缺にてはさみ取らす。

一 お米の殻むき 一穂を屈たくせぬ程度にむいて貰ひます。お米のなりたちを心に印さす爲め

一 神嘗祭 丁度お米が穫みます、園内に奉齋の大御神様に初穂を獻じ御祭を行ひ他のお米に加へてお赤飯を作りお供へし 一同いたゞきます。

一 お薯堀り 馬鈴薯を幼児に手傳はせて植ゑ、出來た時は跳になりお尻を倦つて、此處にもくお薯くく小豆のやうなのをも見逃さず拾つて來てくれる。

其他種々の野菜を植ゑて幼児に觀察させ又食べさせます。毎日裏廻りしては楽しみに觀て居ります。

月々のお祭りにもお野菜は裏畑の物をお供へします。

一 蠶、一本の桑の木を植ゑおき、一蛾或は二蛾分の蠶を養ひますが幼児にて出來得る事は手傳つて貰ひます。

一 昨年までは出來た藪を糸に繰つたり眞綿にしたりして觀せましたが、昨年からは滿洲青少年義勇軍に贈る眞綿の短衣にて依托の下に、養蠶してゐます。

物の不足な時の幼児保育法

もう一つ附け加へて申し述べ度い事は當市に保育協會

が組織されましたが、市の文化聯盟支部も共同主催で去る十一月二十八日お母さん學校大會の發會式を擧げましたが私に課せられたのは右の題であります。有り難いことには、私は物の不足でない時から、自然物を愛し利用し、又捨てて顧みない物品を生かして使ふことに興味を持つてゐましたが、幼児も亦自然を愛し好みました之等には大人も及ばざる創造工夫を致します。定つた物資は不足であつても野にも山にも海にも自然の物資は豊富にありますので不足を補ふのに相應はしく、又幼児には天地自然に感謝の氣持を深からしむる點から一しほ有效だと思ひます。同時に人的資源を補ふのにも徒らに大人じみたことを教るに前

## 熊本幼稚園

熊本市立熊本幼稚園は熊本市の中央商店街で交通も極く便利な處にあります。幸ひ環境は電氣會社、財務局なき大らかな建物がありまして静かであります。明治二十年七月創立し、昭和十二年三月改築諸般の設備も改修されました。

園兒數 百十名  
園長 慶徳國民學校長兼任杉山秀生  
保姆 五名

に、子供自身の身の廻りのことで少しく訓練を要するところですが出來得ることはさせます。中々出來るものです。又幼児は大人のお仕事を随分手傳ひたがります。子供の生活としては單に遊ばしますが區別がありません。大人が假にかゝる小面倒臭いことを案外やつて呉れませんが、結果は大人のしたことも子供のした事も違はぬものがあります。幼児は之によりてお手傳が出來たまで却つて満足をしてゐます。これからの人は下から、たゞき上げた人でなければいけなくなる。嬢や坊やの一點張りではいけない時代になつたと思ひます。大層長くなつてすみませんでした。

熊本市立熊本幼稚園 高島 くに

保育料 貳圓參拾錢

組の編制は四組をしまして、年齢によつて分けてゐます。保育細目は熊本市教育會保育部編纂のものを基として保育案を作成し、幼児の生活をうまく誘導して行かれる様、心の準備をいたしてゐます。自由遊びに對しても、勿論の用意を以て迎へ、その内容が豊かになる様心掛けてゐます。次に毎日遊んでゐます有様的一端を申し上げます。